

事例紹介：アルミダイカストマシン工程の自動化

導入前の課題

- 作業者の段取り替え作業などが多く、生産効率が低かった。
- 作業者の欠勤などがあると生産性が安定しなかった。
- ゲートカットなどの仕上げ作業で品質が安定しなかった。
- 金型交換時の段取り替えは危険作業だった。
- 危険、悪環境での作業のため従業員が定着しにくかった。

ソリューション概要と機能的特徴

対応ロボット：IRB 2400, IRB 4600

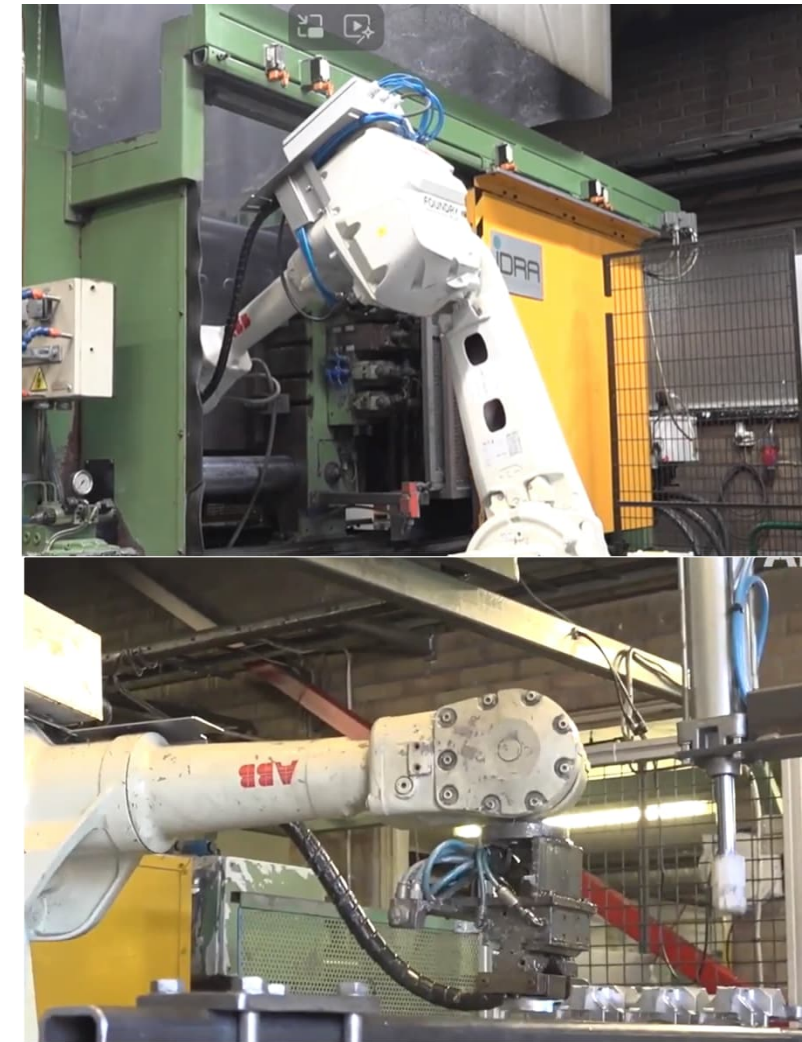
- ダイカストマシンからのワーク取り出し、スプレー、ゲートカットの工程を1台のロボットで自動化

導入による効果

- 工程集約により生産効率が1.5倍に向上
- 作業者依存の軽減で生産性が安定した。
- 作業者の作業負担が軽減、職場環境の改善により離職リスクが減少した。
- 作業者を品質チェックや工程管理などのより高度な業務に従事させられるようになった。
- 品質が安定し、直行率が向上した。

ABBならではの！の特徴

- 悪環境（粉塵・高温環境）でも安定して稼働する頑丈なABBロボット
- ゲートカット時の衝撃に耐え得る剛性の高いロボット
- Foundry Plus2を追加することで、防塵・防水性と耐腐食性を向上
- 複雑なワーク形状でも安定して取出しができる高精度なABBロボット
- 次工程のバリ取りもABBロボットの得意分野です！



参考動画は[こちら](#)

